

第1回策定懇談会での委員の発言要旨と県の考え方・対応等

番号	基本 目標	発言要旨	県の考え方・対応等
1	香川への人の流れを創る	・若者が働く場を創り出すというのであれば、徹底的にやった方がいい。	・若者の都市部への流出を抑制し、地方への定着を促進するため、若者が地方で働きたいと思える、魅力的な産業の創出と働く場の確保が不可欠であると考えており、次期戦略では、新たに、個別施策「若者に魅力のある働く場の創出」を設け、今後一層、情報通信産業など、若者の定着に資する魅力ある産業の振興に力を入れていくこととしています。
2		・先端技術を捉えて、新しい事業や新しい展開ができるよう、支援を強化していただきたい。	・次期戦略では、新たに、個別施策「先端技術の活用支援」を設け、「Society 5.0（超スマート社会）」の考え方も取り入れ、産業の創出と維持・発展を図ることとしており、県内企業の人材の育成や研究開発などの支援に積極的に取り組むとともに、個別施策「若者に魅力のある働く場の創出」において、情報通信産業などの振興にも力を入れていくこととしています。
3		・新規創業から軌道にのるまでには、時間やパワーが必要であり、短期の施策では難しい。中長期の観点から施策を展開していただきたい。	・次期戦略の具体的な施策「産業の創出と維持・発展の促進」の中に、「新規創業・第二創業の創出促進」を位置づけ、新規創業については、事業が軌道にのるまで時間等を要することから、中長期的な観点を持って、（公財）かがわ産業支援財団に設置した「創業支援センター」による総合的なサポートや企業の段階に応じた必要なそれぞれの支援を行ってまいります。
4		・銀行業界も、新規創業や第二創業、事業承継などに力を入れており、市町、県、各団体等と一緒に地方創生に取り組んでいきたい。	・新規創業や第二創業、事業承継については、金融機関や産業支援機関と連携を図りながら支援に取り組んでいます。 ・次期戦略では、具体的な施策「産業の創出と維持・発展の促進」の中に、「新規創業・第二創業の創出促進」、「事業承継の促進」を位置づけるとともに、個別施策「若者に魅力のある働く場の創出」を設け、情報通信産業など、若者の定着に資する魅力ある産業の振興に力を入れていくこととしており、銀行をはじめとした地域の関係機関と十分に連携を図りながら、地方創生の実現に向けて取り組んでまいります。
5		・事業承継の促進に尽力していただきたい。	・事業承継は、中小企業に蓄積された優れた技術やノウハウを次世代に引き継ぐものであり、安定的な雇用を確保するとともに、有用な経営資源の散逸を防ぎ、本県経済の持続的発展を図るために、地域全体の課題として取り組む必要があると考えています。 ・県では、商工会・商工会議所、金融機関等の支援機関とともに、かがわ産業支援財団を事務局とする香川県事業承継ネットワークを構築し、県内中小企業の事業承継の促進に取り組んでいます。 ・次期戦略では、「事業承継の促進」を個別施策として独立させ、事業承継問題の解決なくして本県経済の持続的発展はないとの認識のもと、地域の関係機関と一丸となって、県内中小企業の事業承継の促進に取り組んでまいります。
6		・子どもの教育の中で、未来の香川について、考える機会があってもよい。	・次期戦略の個別施策「ふるさとに誇りを持つ教育の推進」において、ふるさと香川に誇りや愛着を持ち、将来を担う人材を育成するため、地域や企業と連携し、身近な郷土の自然や文化、歴史、産業などを学ぶふるさと学習を推進することとしており、その中で、子どもや地域の実態に応じて、未来の香川について考える機会を取り入れるなどの工夫をしてまいります。

番号	基本目標	発言要旨	県の考え方・対応等
7	香川への人の流れを創る	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な食材を提供してもらえよう、農業・漁業の後継者の育成や県内の食料自給率の向上等に力を入れていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 農水産業者の高齢化や減少等が進む中、県では、本県農水産業の成長産業化を図るため、県内外からの新規就農者の確保や農地集積による農業経営の規模拡大等を通じた力強い担い手の育成に努めるとともに、県オリジナル品種を中心とした「さぬき讚フルーツ」やオリーブ牛・オリーブハマチをはじめとしたオリーブ畜水産物など、高品質で特色のある県産農水産物の生産拡大とブランド力の強化に向けた取組みを進めています。 次期戦略においても、個別施策「農林水産業の担い手の確保・育成」、「オリーブ産業の振興」、「魅力ある農林水産物づくりの推進」などにおいて、引き続き、こうした取組みを積極的に推進することとしており、本県農水産業を、若者が希望を持てる、将来にわたり持続可能な力強い産業に成長させたいと考えています。
8		<ul style="list-style-type: none"> 農地を集約する事業などを行っているが、結局は後継者が育たないと、継続して耕すことはできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期戦略の個別施策「農林水産業の担い手の確保・育成」において、県内外からの新規就農者の確保・育成及び本県農業を支える力強い担い手の育成に取り組むこととしており、就農から定着までの一貫したサポートや、農業経営の規模拡大、多角化、高度化、法人化等の継続的な支援を行うこととしています。
9		<ul style="list-style-type: none"> 魚離れが進んでおり、漁師になる人も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 県では、魚離れを解消し、魚食や県産水産物の消費拡大を推進するため、おさかな伝道師の育成やお魚一匹まるごと食育教室の開催等による水産食育活動の推進を図っています。 また、次期戦略では、個別施策「農林水産業の担い手の確保・育成」において、多様な漁業就業希望者が就業しやすい環境をつくり、就業相談から就業開始・定着までの一貫した支援により、将来にわたり漁業生産を維持発展できる担い手の確保・育成に取り組むこととしており、「かがわ漁業塾」や新規就業者漁船漁具リース支援等による新規漁業者の確保に努めることとしています。
10		<ul style="list-style-type: none"> 外国人移住者が家族揃って香川県に来てもらえるよう、県立のインターナショナル(英語圏)の小中学校を準備するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本県における在留外国人数は、次第に増加しており、今後も一層増加が見込まれることから、本年4月1日に、外国人の生活全般に係る一元的な相談窓口として、「かがわ外国人相談支援センター」を設置するとともに、県内事業者や外国人労働者からの相談に対応する「外国人労働人材関係相談窓口」を県独自の施策として設置し、2つの窓口が連携し、総合的な支援を行っています。 また、外国人の日本語教育に関しては、県国際交流協会と連携して、日本語講座の開催や、地域の日本語教室の運営に不可欠な日本語指導ボランティアを育成するための日本語ボランティア養成講座の開催、さらに、外国人住民の日本語学習のサポートや生活相談等ができる機会を提供するための日本語サロンの開催などに取り組んでいます。 「インターナショナルスクール」については、全国的に民間事業者が、主に英語により授業を行う、外国人児童生徒を対象とする教育施設として設置しているところであり、公立校での設置は難しいと考えています。 いずれにしても、次期戦略では、新たに、具体的な施策に「外国人材の受入れ・共生」を設け、外国人材の円滑な受入の支援や、多文化共生社会の実現に向けた取組みを推進していくこととしています。

番号	基本目標	発言要旨	県の考え方・対応等
11	香川への人の流れを創る	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の情報を学生に届くようにすることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学者の8割が県外に進学している状況の中、県内企業の情報を十分に理解することなく、県外で就職する若者も多いことから、県内外の学生等に県内企業の情報発信を推進していくことが重要であると考えています。 ・このため、次期戦略の個別施策「産業人材の育成と企業の人材確保の支援」、「県内就職の促進」において、引き続き、就職支援サイト等を活用した県内企業の情報発信や企業見学会、インターンシップの促進、合同就職面接会の開催などに取り組むこととしています。 ・また、県内外に進学する本県出身学生に、シェアトップ企業をはじめ県内企業の魅力を伝えるとともに、Uターン・県内就職について考えてもらえる内容のパンフレットを定期的に配布しているほか、就職支援協定を締結している大学の父母会等で、Uターン就職や県内企業の魅力を学生の父母を通じて伝えるなどの取り組みを行っているところであり、引き続き、Uターン・県内就職を促進するための情報発信に努めてまいります。
12		<ul style="list-style-type: none"> ・県外進学者が県内で就職活動する際の旅費の助成について、もう少し条件を緩和していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から実施している県外在住の学生が県内でのインターンシップや合同就職面接会に参加する際の交通費助成については、学生等の要望を勘案し、今年度、企業見学会を対象に加えるとともに、対象学年の制限をなくすなど、補助対象を拡大したところです。 ・次期戦略においても、個別施策「県内就職の促進」において、引き続き、県外在住学生への交通費支援や、就職活動を行う学生への就職支援サイトを活用した県内企業の情報発信と人材採用コーディネーターによるきめ細やかなマッチング支援などを行うことにより、県外在住学生のUターン就職の支援等に取り組むこととしています。
13		<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人に香川の良さを分かってもらうことが、若者の県内定着につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外に進学する本県出身学生に、香川県や県内企業の魅力を伝えるとともに、Uターン・県内就職について考えてもらえる内容のパンフレットを定期的に配布しているほか、就職支援協定を締結している大学の父母会等で、Uターン就職や県内企業の魅力を学生の父母を通じて伝えるなどの取り組みを行っているところであり、次期戦略においても、「県内就職の促進」において、引き続き、Uターン・県内就職を促進するための情報発信に取り組むこととしています。
14		<ul style="list-style-type: none"> ・県の奨学金について、急に進路変更した場合でも申込みができるよう、前向きに検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の大学生等奨学金については、奨学金の内定を早く受け、安心して受験勉強等に専念してもらいたいという考え方のもと、高校3年生の4月頃に受け付け、6月頃に内定を出しているところです。 ・来年度から、国の高等教育無償化による給付型奨学金の創設など、低所得世帯への支援額が大幅に拡充される中、県の大学生等奨学金の申込状況等にも変化があるものと考えており、今後、その動向を踏まえて対応する必要があります。
15		<ul style="list-style-type: none"> ・進学時の県外流出を抑制するためには、地元の大学の充実が重要な要件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期戦略の具体的な施策「県内大学等の充実強化」において、県内大学等の特長を生かした魅力づくりを支援するとともに、県内大学等が連携して取り組むことが効果的な広報活動や地域連携活動を促進し、県内高校生の県内大学等に対する認知度を向上させるため、県内大学等と県内高校が連携した取り組みを進めることとしています。

番号	基本目標	発言要旨	県の考え方・対応等
16	香川への人の流れを創る	・卒業後、即戦力で働ける単科大学のようなものを県立で考えるとよい。	・18歳人口の減少が見込まれるとともに、厳しい財政状況の中、新たな県立大学を設置することは難しいと考えていますが、次期戦略の具体的な施策「県内大学等の充実強化」において、私立専修学校等における地元企業等との連携による実践的な職業教育の質の向上に向けた取組みを支援するほか、県内大学・短期大学・高専が県内企業等と連携して行う若者の県内定着の促進に資する取組みに対し、支援を行うこととしています。
17		・県内大学への進学について、高校への働きかけも必要。	・県では、大学コンソーシアム香川が実施する広報活動や県内大学等合同進学説明会など、県内大学等の情報発信や県内高校との連携強化への支援などを行っているところであり、次期戦略においても、具体的な施策「県内大学等の充実強化」において、引き続き、こうした取組みを進めることとしています。
18		・従来の高校卒業したら、外に行きなさいという我々の教育に対する意識、指導する教員の意識が変わらないと、県内にとどまる学生は増えない。	・次期戦略の具体的な施策「県内大学等の充実強化」において、県内大学等の特長を生かした魅力づくりを支援するとともに、県内大学等が連携して取り組むことが効果的な広報活動や地域連携活動を促進し、県内高校生の県内大学等に対する認知度を向上させるため、県内大学等と県内高校が連携した取組みを進めることとしています。 ・また、高校では、生徒に対し、県内大学も含めて、その大学で学べることをしっかり把握させるとともに、将来への展望を十分に考えさせた上で、生徒の進路希望を尊重した進路指導を引き続き行ってまいります。
19	誰もが安心して暮らし、活躍できる香川を創る	・自主防の果たす役割が地域の安全・安心はじめ、地域の活性化という意味でも、重要になってきている。	・大規模災害が発生した場合に、被害を少しでも減少させるためには、地域コミュニティにおける「共助」の中核として自主防災組織が重要であると考えています。 ・このため、次期戦略の具体的な施策「災害に強い香川づくり」において、市町と連携して、自主防災組織が行う先進的な活動を支援するほか、自主防災活動アドバイザーの派遣やリーダー研修などを行い、自主防災組織の活動の活性化が図られるよう積極的に取り組むこととしています。
20		・老人はじめ歩く人とか、自転車にも配慮した道路整備をしていただきたい。	・県では、道路標識・標示の高輝度・カラー化、自転車歩行者道の整備、電線類の地中化など、交通事故の起きにくい交通環境の整備を推進するとともに、高齢者や障害者などにも配慮し、歩道と車道の段差を低くするなどのバリアフリー化にも努めているところです。 ・次期戦略では、具体的な施策「交通事故や犯罪のないまちづくりの推進」において、これらの対策を含め、安全で快適な交通環境の整備を行い、総合的な交通安全対策を推進することとしています。
21		・地域の活性化に重点を置き、みんなで子どもを育てる環境づくりが大事。	・県では、子育ての不安や悩み、孤立感の解消のため、子育て支援に関する情報提供や、子どもや家庭に関するさまざまな悩みや不安についての相談・援助体制の充実を図るとともに、地域の実情に応じた多様かつ総合的な子育て支援を図るため、利用者支援事業や地域子育て支援拠点事業などに取り組んできており、次期戦略においても、個別施策「地域における子ども・子育て支援の充実」において、引き続き、みんなで子どもを育てる環境づくりに取り組んでいくこととしています。

番号	基本目標	発言要旨	県の考え方・対応等
22	誰もが安心して暮らし、活躍できる香川を創る	・忙しい人をフォローする、ヘルパーの仕事をする人がもっと増えるとよい。	・県では、地域における育児の相互援助活動を推進するため、ファミリー・サポート・センター事業を行う市町に対する支援を行っているところであり、次期戦略においても、個別施策「地域における子ども・子育て支援の充実」において、引き続き、地域の子ども・子育て支援の充実を図ることとしています。
23		・次期戦略に、高齢者支援がもう少し大きなものとして、入っていてもよい。	・高齢者支援については、次期戦略の施策の基本的方向「『健康長寿の香川』をつくる」において、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりの推進のため、ボランティア活動や地域活動等への参加の促進、生涯学習や生涯スポーツの機会の拡充、就業機会の確保の支援に取り組むこととしているほか、介護サービス等の充実のため、地域包括ケアシステムの構築・深化、サービス提供体制の整備、介護人材の確保に取り組むこととしています。 ・また、個別施策「高齢者等の日常生活の支援」において、高齢者等の日常生活を支援する仕組みづくりに対する支援を行うこととしています。
24	活力ある香川であり続けるための元気を創る	・里海づくりや山の保全に力を入れていただきたい。	・次期戦略の個別施策「環境を守り育てる地域づくりの推進」において、本県の恵まれた環境を将来にわたって守り育てていくため、地球環境、自然環境、生活環境など、幅広い分野の環境保全に取り組むこととしています。 ・特に、県民一人ひとりが主体的に環境保全に取り組んでいけるよう、里海づくりを牽引する人材を育成する「かがわ里海大学」や、みどりを守り・育てる人材を育成する「みどりの学校」の実施ほか、省エネなど身近な環境分野に関する環境教育・環境学習などに重点的に取り組むこととしています。
25		・地域を担う人材づくりとして、リーダー研修のようなものが必要。	・地域づくり人材の育成支援として、香川県連合自治会と連携し、自治会役員等を対象に地域づくりに関する研修会を開催するとともに、地域の特色を活かした魅力ある地域づくりを推進できるよう、地域活性化の手法の習得や新たな人脈づくり等を図るため、地域づくり団体の構成員の研修参加に対する支援を行っているところであり、次期戦略においても、個別施策「多彩な地域づくりの推進」において、地域づくりの担い手となる人材の育成に取り組むこととしています。
26		・総花的にいろんなことに手を出すよりも、例えば、世界中から1週間、1か月間だけは香川に来るようなものすごく大きなイベントを立ち上げるとか、思い切って、一点集中型というのも、意外と面白い。	・地域経済を活性化するためには、観光客の滞在時間を延ばし、消費を促す滞在型観光が重要であることから、次期戦略の個別施策「滞在型観光の推進」において、民間事業者や市町等とも連携しながら、夜型観光や体験型観光の充実に積極的に取り組み、持続的に交流人口の拡大に努めることとしています。 ・また、現状においても、世界中からの来県者に楽しんでいただける瀬戸内国際芸術祭や、アジア最大級のアカペラのフェスティバル「ボーカルアジアフェスティバル」などを実施し、地域の活性化や交流人口の拡大を推進しているところです。
27	・先端技術のところに、MaaSを入れていただきたい。	・MaaSについては、地域公共交通ネットワークの確保・維持や活性化を図るため、交通事業者をはじめとして民間企業を中心に取り組んでおり、次期戦略の具体的な施策「交通ネットワークの整備」、「地域公共交通の確保・維持」において、本県への活用にも努めることとしています。	

番号	基本目標	発言要旨	県の考え方・対応等
28	人口減少に備えた持続可能な都市と地域を創る	・ 今後も、コミュニティバスを維持できるようにしていただきたい。	・ 人口減少、少子高齢化への対応等の観点から、地域公共交通の重要性はますます高まっており、次期戦略の具体的な施策「地域公共交通の確保・維持」において、県全体で利便性と結節性に優れた地域公共交通ネットワークの構築に取り組むこととしています。
29		・ 地域の次代を担う人材が減少する中、今後どのような形で地域のコア、コミュニティを充実させていくのか。	・ 活力あるコミュニティの維持に向け、地域づくりに関する先進的な取組事例の紹介等を行う研修会を開催するとともに、地域の課題解決に向け、地域づくりのためのモデル的な取組みを行う市町や、個性豊かで活力ある地域づくりの取組みを行う団体への支援を行っているところであり、次期戦略においても、個別施策「多彩な地域コミュニティ活動の促進」において、市町や地域住民が主体となった地域コミュニティづくりに対する支援を行うこととしています。
30		・ 香川県を応援する人（関係人口）を増やすため、本県の魅力をもっとPRしていくべき。	・ 次期戦略では、人口減少や高齢化が進み、地域の担い手が不足する中、地域外にあって、特定の地域と継続的かつ多様な形で関わる人々（関係人口）に地域を応援してもらうため、新たに、個別施策「地域課題の解決に向けた関係人口の創出・拡大」を設けることとしており、こうした施策の中で、本県の魅力のPRの方法についても、検討してまいります。
31	その他	・ 地方創生の実現には、県民が情報共有できるような場ができるかどうか、非常に大きな要素になる。	・ 人口減少を克服し、地域活力を向上させるためには、県民一人ひとりが人口減少に関わる現状と課題を理解し、目指すべき将来の方向を共有することが重要であることから、県ホームページで、人口の現状と将来予測のほか、人口減少・活力向上対策の取組みやその進捗状況を掲載するとともに、県政出前懇談会において、県民との意見交換も行っているところであり、今後も、県民との情報共有に努めてまいります。
32		・ 次期総合戦略を策定し、実現していくためには、市町との連絡調整も非常に重要。	・ 次期戦略の策定に当たっては、本年7月に「次期『地方版総合戦略』等に関する市町連絡会議」を開催し、市町との意見交換を行ったところであり、今後も、市町と十分に連絡調整を図りながら、次期戦略の策定を進めてまいります。